

子どもと文化の森

■編集・発行■

特定非営利活動法人子どもと文化の森

〒480-0146 丹羽郡大口町余野 1-153

TEL/FAX (0587)94 -1223

E-mail:npo-bihoku@aq.wakwak.com

[http://park16.wakwak.com/~kodomo -bunka/](http://park16.wakwak.com/~kodomo-bunka/)



広報紙「子どもと文化の森」 NO.78を最後とします。

毎号楽しんでお読みいただき、ありがとうございました。これまでは紙面で広報紙を作成してきましたが、今後は時代に合った方法で発信していきます。

また、子どもと文化の森は活動拠点を大口西児童センターに移動することになりました。これからも皆様との繋がりを大事にしていきます。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

理事長 中村祥

コロナ禍に発行した
広報紙 NO.68

最終号に思うこと

事務所の棚に、一九七五年十二月の創刊号からすべての広報誌がきちんと保管されているのを見つけました！「ごもくごはん」もありますよ。興味のある方は是非ご覧ください。

創刊号には、なんと当時、中学一年生だった私の文章が載っていました。おそろおそろ読んでみると例会の「青い目のロバ」を観た感想でした。つまらない、途中で眠くなった、と辛らつな言葉が続きます。これは、多感な中学生だからなのか、あるいは私の性格なのか…(泣)つまらないと言いながら、その後、五十年会員を続けてきました。ここ数年は広報誌でエッセイのようなものを書かせてもらっています。

「おもしろいね、楽しみにしているよ」と数名の方に声をかけていただいたのを励みに書いてきました。今後はウェブで掲載される予定なので、これまでよりも過激なものになるかもしれませんが、ぜひ。乞うご期待！

今までは、広報部の編集会議が楽しみでした。心が清らかな人ばかりなので(褒めすぎ)自分の心が洗われる気持ちでした。新しい事務所でも会員同士がおしゃべりできる場があるといいなあ。

久美子



尾北おやこ劇場機関紙から

NPO 法人子どもと文化の森広報紙のこれまで



子どもと文化の森の前身 尾北おやこ劇場が設立したのは1975年10月。すぐに機関紙発行が始まりました。

印刷所で印刷したものです。多い時は会員数が1,000人を超えていたから・・・

そして、平成の時代に入り、手書きで手刷りの「ごもくごはん」と改名し発行を重ねました。「ごもくごはん」という名前の由来は、いろいろなものが入っている。

手作りの暖かさを、大事にしたかったからです。

岩根佐代子



100号を迎えたなんて、うれしいですね。
おやこ劇場を創出したときから、もう
おそろしい精神状態になったところに
機関紙をつくるなんて、「どうや
りやるの？」としか、文芸的な私た
ちでは。その頃、劇場には、
保母さん集団がいて、その中から、や
りかたの人が集まって、とにかく出来た
部でした。
手書きで、虫もくいはら、ヤリ板。
でも、ローラーの下から出てきた乾草。
みんな、大拍手。「まあおまはら」。
来たから、単純なやりかたをしよう。
それから、やっぱ、印刷屋さんにお願いし
た版下づくりをやりましたよ。前
はるか来たから、100号というお祝い、前

機関紙100号発行時の
前山美智江さんの言葉です

子どもと文化の森広報紙に関わった方からのメッセージ

亡くなった母に、「国文科を卒業してもお手紙ひとつ書けない。」とよく嘆かれていた私は文章を書くことが苦手で、広報紙に関わる羽目になった頃は気が重かった。

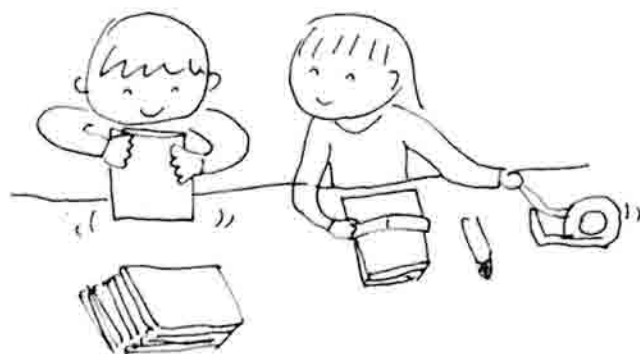
関わった期間はどれ位だか記憶が朦朧ながら、割と長い年月続けることができたのは、一人で奮闘するのではなく、活動がチームプレイだったからだ。文章の上手い人、絵の上手い人、アンテナの高い人と、違った個性を持つ人が集まる中、専ら私は立方体のPCのデスクトップに向かい、紙面のレイアウトを考えワードのテキストボックスをコピーペースト。そうして仕上がるささやかな充実感を味わわせて頂くことで、私自身の豊かな成長となっていたのだと思い返す。

今や情報は手の平の上のスマホの中にザクザク。でも、森の中に分け入って一粒のドングリを拾う様な実体験の伴う人の成長の場が、

この先も絶えない事を願うばかり。

今年度をもち紙面作成を終えるとの事、広報紙に関わられた皆様、長い間お疲れさまでした。

H.14年~H.27年迄、広報部長だった扶桑のU



私の夢は、お母さんになることだった。

念願のお母さんになれ、初めての子育ては右往左往。

そんな中、「尾北おやこ劇場」に出逢い、

生の舞台の面白さに感激した。楽しさを知った私は、三兄弟に有無をいわせず(?!)あちこちのイベントに出かけた。時には夫も巻き込んで。

何でもやってみたくて、幼児部、広報部、プロデュース部などイロイロ所属し、企画や運営に関わった。中でも鮮明に覚えているのは「こどものまち」の前身「遊・楽・祭」だ。子ども中心の祭りで、共通の通貨をどんぐりにし、金色に染めた。また、広大な場所で焼きイモ大会。たくさんの親子に出会った。

今でもこの時代を謳歌したお母さんとは、繋がっており、懐古よもやま話で盛り上がる。

楽しかった経験が土となり、お母さんという夢が華麗に咲いた。

さて実はもう一つ夢がある。それは『おばあちゃん』になること。が、はて、いつのことやら、どんひやららん。

青山晃江





特定非営利活動法人子どもと文化の森の活動を支援していただいています。

Eit 保険アライアンス(株)・(株)いずみ・鈴与興業(株)・ABCカフェ GARDENS・協栄産業(株)・あまの歯科クリニック
江口印刷・(特)のいちご・(株)波多野工務店・まみーぽけっと・みずの接骨院・(株)村金・岩井歯科・(株)尾北
学生専科タキヒロ・姿勢専科 KCS センター尾張/江南・ほその外科小児科・(有)坂口工業・(株)サインズコーナン
岩田新聞店・村井ピアノ教室・(株)創設計

もりもりキッズ スペシャルプログラム

『今井先生の仮説実験授業』 『もりもりパズール』

11月30日(土) 2月23日(日) 
13:30~15:00 13:00~15:00

 今回のテーマは 「こども市」だよ!
「背骨のある動物たち」 もちろんハローワーク
でした。 銀行もあるよ

 江南厚生病院 入院中の病児支援

10月15日(火) 12月26日(火)
14:00~16:00 14:00~16:00



「ホスピタルクラウン」
のピーノさんと一緒に
出かけたよ



第16回 大口笑おう会

2月9日(日)
14:00~16:00
大口町健康文化
センター4階和室




出演
落語：登竜門幸福
講談：旭堂鱗林

落語家体験講座

子どもたちが
楽しんでチャレンジしてくれました。
講談には中学2年生の「莓大福みるく」ちゃん
落語には小学3年生の「笑吉亭中吉」君
中学1年生の「満腹亭拉麺」君
頑張ったね。楽しかったよ!



 大口町立図書館受託事業

『絵本でビンゴ』

2月15日(土) 13:00~16:00
大口町立図書館 小体育室



絵本を楽しみながらビンゴを完成させると
お土産がもらえます。親子で絵本を楽しみなが
ら過ごす姿は微笑ましいものです。



はじめてのワーク&ステージ 大口町受託事業
おもちゃ工作「マラカス作り」 おやこコンサート「Trio Cuna(トリオクーナ)」



時間	おもちゃ工作	おやこコンサート
場所	10:30~11:30	10:30~11:30
西児童センター	1月24日(金)	1月31日(金)
南児童センター	2月14日(金)	2月21日(金)
北児童センター	2月28日(金)	3月7日(金)

マラカスを振りながらコンサートを楽しむ子どもたちに
ママの笑顔もはじけます。



・・・編集後記・・・

機関紙も初期は手書きで手渡し、今はインターネットで誰でも見ることができます。そんな中、お会いする機会が減る方もいると思います。そういった方にもお声かけ、この会で得た小さなご縁を大切に繋いでいけたらいいなと思います。 【美智子】